



4つの“あい”+1で みんな幸せ

東広島市立磯松中学校 第2学年
令和7年7月16日(水) 第4号

今日よりも一歩前へ伸びていこう

体育大会に一生懸命取り組み、ふと気づけば前期中間試験が行われ、答案がみんなのもとに戻ってきました。その結果に喜んだり悲しんだりしていると、あっという間に7月になり、夏休みももう目の前になってしまいました。時がたつのは本当に早いものですね。

さて、中間試験の結果はどうでしたか。2年生は中だるみの学年ともいわれますが、今回の試験にどのくらい力を注いだでしょうか。試験の結果にしっかりと向き合ってみてください。テストの点数はうそをつきません。自分の学習時間、学習方法がそのまま結果に表れます。そこで反省の必要のない人はいないはず。むしろ、しっかりと取り組んだ人ほど、次はどうしなければならぬかがはっきりと分かっているのではないのでしょうか。

結果がよかった人もよくなかった人もこれまでの学習に対する姿勢を振り返ってみましょう。日々の生活の中で今までの自分を少し変えていく工夫をしてみてください。勉強する、しないも大切ですが、どんなふうにするかがとても大切です。

わくわく・ワーク・体験ウィークスタート!

～職場体験学習に向けて～



9月16日(火)～19日(金)の4日間、職場体験学習を実施します。1年生の時には、職業講話という形で、東広島市内の事業所の方に学校に来ていただいて、仕事や職種について学ぶ機会がありました。今回は2年生全員が市内の事業所に出向いて体験することになります。ぜひ、この機会を大きな「学び」の場にしてもらいたいと思っています。第一希望の職種の事業所になった人も、そうでない人も、仕事という視点では何ら変わりありません。働くということとはどういうことか、日頃自分が学んでいることが仕事とどのようなかわりがあるか、自分が大人になったとき、どのようにしていきたいかなど、実際に「労働」を体験し、働く人々と直接接することで多くのことを学び、中学生の今、なぜ学校での学びが大切なのかあらためるはず。

職場体験学習の目的

東広島市で働いている人々にじかに接し、働く姿や思いを見聞きし、自ら働くことを通して、次のことを学ぶ。

- ① 働くことの体験を通して、職業そのものの理解と職責を果たす社会的役割を理解する。
- ② 社会生活の体験から自己のあり方・生き方を学ぶ。
- ③ 社会人として必要な資質・理解の能力・マナー等についての学習と事故の適正について考える。
- ④ キャリア発達を促すため職場体験学習を通して進路意識・目的意識を高める。
- ⑤ その職業に就くために必要な進路・技能・資格等の情報収集をする。

今回の職場体験学習に向けて、専門の講師の先生をお招きして7月1日(火)マナー講座が開かれました。礼儀やマナーなど、日頃学校生活だけではなかなか意識できていないことを、この講座で教えていただきました。学んだ多くのことを、職場体験やこれから日頃の生活にぜひ生かしてもらいたいものです。

目的や準備をおろそかにすると、成果を得ることはできません。全員が「やって、よかった!」といえるような体験学習にしていってほしいと思います。



マナー講座を終えて、生徒の感想より

講座を受けて、夢をかなえる方法は、「吐くこと」「あきらめるに逃げない」ということがわかったので、夢ができれば、この二つを意識して、夢に向かって努力しようと思いました。「吐くこと」は、マイナス発言をなくすと「叶う」になることがわかったので、マイナス発言をこれからはなくそうと思いました。また、礼儀は「想像」することだと学んだので、お客さんや職場体験先の方の気持ちを、先を考え、「想像」して体験しようと思いました。他には、挨拶はお辞儀の角度で意味が違う、挨拶は音階の「ソ」以上の声の高さで、なども学びました。さらに、マナーは時と場合を考えて、答えは一つじゃないとわかったので、どんな時も考え、想像していきたいと思いました。



夏休みの計画を考えてみました

～自分で計画を立て、実践し、振り返り、改善する力をつけるために～

学活で、夏休みの計画を立ててみました。一日をどのように過ごすか、どの宿題をいつまでに済ませるかなど、自分で考えてみようということでしたが、なかなか進みませんでした。計画をたてておけばOKというわけではありませんが、何をしなければならないか、いつまでが期限なのかなどを、まず自分で考えてみるのが大切だと思います。あとから、「早くから取り組んでおけばよかった…」ということにならないよう、見通しをもって行動できるようにしてほしいものです。そしてこんな力が伸びたと振り返られる夏休みにしてください。